

2008年11月20日

映画「アンダンテ稲の旋律」製作・上映ニュースNO1

■ 主人公「藪崎千華」役に、新妻聖子 (にいづませいこ) さんが決定しました!

(詳しくはホームページを御覧ください!)

● 千華の父親役で松方弘樹さんが予定されています。

豪華で魅力的なキャスティングを順次発表いたします。

○ 映画「アンダンテ稲の旋律」製作上映支援「よびかけ人・団体」が発足しました。

農民運動全国連合会と全国食健連は本映画の製作・上映の成功をよびかける、製作上映支援運動が発足しました。

全労連、全教、自治労連、新婦人の会もよびかけ団体への参加を検討しています。

○ 農民運動全国連合会の白石淳一会長が映画へ期待のコメントを発表しました。

「旭爪あかねさんの小説「稲の旋律」が映画になると聞き、どんな映画になるのか今から楽しみです。美しい農村風景や日々の農作業を織り交ぜながら、青年達の悲しみや喜び、そして希望を見つめ、本当の幸せとは何かを追い求める姿に、きっと多くの方々が感動し、明日への希望を与えてくれる映画になると確信しています。みんなでこの映画を成功させましょう。」

○ 第3稿目のシナリオが12月初旬に完成します。

シナリオ普及版から多数の意見を戴き、製作委員会は脚本家の岡崎由紀子さんを中心に第3稿の脚本執筆を進めています。

○ 関東の映画センター5社の配給会社が11月7日東京で

映画「アンダンテ稲の旋律」の作戦会議を開きました。

配給者の立場で、本作品の今日的意義・作品の打ち出し・製作上映運動をどう進めるか、映画製作者の桂壮三郎氏を迎え作戦会議を開きました。

■ 製作協力券の普及を強化しましょう。

製作上映委員会は全国で10万枚を普及する

製作支援運動を本格的に開始いたしました。

製作協力券の普及で、製作と上映を成功させましょう。

食と農と大地、そして人間再生の物語!

発行:映画「アンダンテ稲の旋律」製作上映委員会

東京都東村山市栄町1-39-72

電話/FAX 042-396-7815

HP <http://www.ggvp.net> E-mail: gogo@ggvp.net

食と農と大地、そして人間再生の物語！

映画「アンダンテ稲の旋律」
製作・上映運動の成功をよびかけます。

拝啓 皆様におきましては、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

映画「アンダンテ稲の旋律」は、食と農と大地そして人間再生を主題に2008年春より撮影を開始されます。本作は、今の日本社会が抱えている人間の生命を軽視する様々な問題を正面から描く内容の作品として映画化されます。よびかけ人・団体は本映画製作の趣旨を高く評価し製作・上映運動の成功をよびかけます。

完成後は映画の感動を全国隅々まで広げ、多くの人々と共に感動を共有する上映運動を広めて行きたいと考えています。

是非、皆様の暖かい御支援、御協力を心より賜りたいと存じます。

(よびかけ人・団体 2008年11月現在)

○農民運動全国連合会

会長 白石淳一

○国民の食糧と健康を守る運動全国連絡会(全国食健連)

事務局長 坂口正明

○全日本民主医療機関連合会

会長 鈴木篤

食と農と大地そして人間再生の物語！
映画「アンダンテ稲の旋律」
製作・上映
支援のよびかけ

拝啓 皆様におきましては、ますます御清栄の事とお慶び申し上げます。

映画「アンダンテ稲の旋律」は、食と農と大地そして人間再生を主題に2008年春より撮影を開始されます。本作は、今の日本社会が抱えている人間の生命を軽視する様々な問題を正面から描く作品として映画化が進められています。農民運動全国連合会は製作の趣旨を高く評価し本映画の製作を支援して行きたいと思っております。完成後は全国隅々まで広げ多くの人々と共に感動を共有する上映運動も積極的に応援をして行きたいと考えています。是非、皆様の暖かい御支援、御協力を賜りたいと存じます。

■製作協力券・普及運動を広げましょう。

- 製作協力券は1枚1000円(1口・100枚・10万円)
- 電話・FAX・メール・手紙等による申込。

農民運動全国連合会
東京都豊島区南池袋 2-23-2
池袋パークサイドビル 4階
電話 03-3590-6759 FAX 03-3590-6953

旭爪あかねさんの小説「稲の旋律」が映画になると聞き、どんな映画になるのか、今から楽しみです。美しい農村風景や日々の農作業を織り交ぜながら、青年たちの悲しみや喜び、そして希望を見つめ、本当の幸せとは何かを追い求める姿に、きっと多くの方々が感動し、明日への希望を与えてくれる映画になると確信しています。みんなでこの映画を成功させましょう。

農民運動全国連合会 会長 白石淳一

映画「アンダンテ」製作
委員会　さまへ

農民運動全国連合会
会長　白石淳一

旭爪あかねさんの小説
「稲の旋律」が映画にな
ると聞き、どんな映画に
なるのか、今から楽しみです。

美しい農村風景や日々
の農作業を織りまぜなが
ら、青年たちの悲しみや
喜び、そして希望を見つ
め、本当の幸せとは何か
を追い求める姿に、きっ
と多くの方々が感動し、
明日への希望を与えてく
れる映画になると確信し
ています。

みなんでこの映画を成
功させましょう。